

大分市立松岡小学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 5年【大分県学力定着状況調査】 国語では「文の構成」「記述・知識」に、算数では「数学的な考え方」「知識・理解」に、理科では「物のあたたまりかた」に課題が見られた。</p> <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 国語、理科では「知識」「活用」とも目標値、県平均を上回っており意欲・関心・態度がとても高いことが分かる。算数は「活用」で目標値、県平均を上回っているが「知識」は県平均に達していない。「数学的な考え方」に課題があり、基礎の定着と応用力を高める指導を重ねていく。</p>	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 5年【大分県学力定着状況調査】 国語では「記述」の問題で目標値に達しておらず未回答も多い。算数では「計算のふくしゅう」「角の大きさ」に課題がある。理科では「物体の体積と温度」で課題が見られた。</p> <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 国語では「書く」活動を多く取り入れ、説明的な文章に多く触れる機会を増やす。算数では複数の教員により習熟度別授業を行う。また、さまざまな問題に対応できるよう応用問題を解かせる。理科では実験や観察等の活動を積極的に取り入れ、知識技能を体験的に身に付けさせるよう指導を重ねていく。</p>
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間完結型の授業「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を明確にした(学ぶ手ごたえのあるシンプルな授業)実践を行う。 ・対話活動の活性化による伝え合う力・表現力の育成 ・算数科における指導法工夫改善担当による少人数指導や習熟度別指導の導入 ・学習規律の確立(話の聞き方・話し方・授業中のきまり・学習用具の準備等を大東中学校区で統一) <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <p>読書活動の推進(保護者による読み聞かせ活動・年間の読書目標の設定・要点や内容を意識した読書の習慣づけ) 言語環境の充実(人的・物的言語環境の整備、「教師は最大の言語環境である」ことを意識した実践、国語科での読書時間の確保)</p>	

学力に関する達成指標	自分の考えを持ち、主体的に授業に参加することで、「わかる、できる。」と感じる子ども90%
-------------------	--

